

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)江の木町プロジェクト 新築	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市江の木町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年2月7日
敷地面積	585 m ²	作成者	和田恒茂01791-23
建築面積	338 m ²	確認日	2021年2月7日
延床面積	2,783 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	97%
③上記+②以外の	97%
④上記+	97%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.1
温熱環境	2.7
光・視環境	3.4
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.8
耐用性	2.8
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	4.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

水資源	3.4
非再生材料の	3.6
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

地球温暖化	3.1
地域環境	2.4
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	1階店舗と住宅部分の動線は、明確に分ける。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	住宅部分の開口部は遮音等級T-2を確保する。	Q2 サービス性能 バリアフリー新法の建物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内には、壁面緑化を含め緑化に努める。	
LR1 エネルギー	住宅部分は省エネH28年度基準で基準値をクリアしている。	LR2 資源・マテリアル 躯体材料以外のリサイクル材の使用や、有害物質を含まない材料を使用する。
LR3 敷地外環境	遵守しなければいけない法規則を守り、地球温暖化へ配慮した。 近くに賑わいのある幹線道路(新御堂筋)があり、そこから見て商業地に建つ建物にふさわしい、土地を高度利用した(10階建て)建物である。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0132

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)江の木町プロジェクト					
		建設地	吹田市江の木町					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					4		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.1	3		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.0	4		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.6	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			2.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		特になし						